

## 令和2年度 第1回校長講話

全校の皆さん、おはようございます。

先週より学校が再開され、少しずつ日常に戻りつつありますが、体調はどうですか？また、悩みや気になることはありませんか。困ったことがあったら、いつでも相談してくださいね。

さて、高山小学校の学校目標は、「ひとりだち」「ともそだち」です。

「ひとりだち」は、自分のよさを大切にして、自分で考えて、自分で行動する。「ともそだち」は、自分のことだけでなく、友だちの考えや気持ちを大切にして、お互いのよさを認め合い、一緒に成長していくことです。

待ちに待った学校が再開し、張り切っている人が多いかと思いますが、教室を回って見ると、臨時休業中に十分できなかった授業にしっかり取り組んでいる様子や、休み時間に友だちと楽しそうに校庭などで遊んでいる皆さんの姿が見受けられ、「ひとりだち」「ともそだちに」に向けて、成長しようとしている姿があちこちで見られ、大変うれしく思います。

ところで、仏教、特に禅について研究をされた鈴木大拙という先生がいらっしゃいます。

96歳まで生きられた方です。

その先生が96歳まで長生きできたのは、毎日150段の石段を登って研究所へ通ったせいだと言われています。学校の階段で数えてみると、1階から2階へ行くのに24段ほどですので、学校で言えば1階から7階に登るくらいの感じでしょうか。



ある時、先生の弟子が「私のように若い者でも150段もの石段のところに来ると嫌になってしまおうのですが、何かコツがあるのですか？」と聞きました。先生は「コツなんてものはないが…」と言いながらこんな話をしてくれたそうです。

「階段を登る時、下から上をふりむいたらだめだよ。そんなことをしたら誰だって気分的に嫌になってしまおう。大事なことは、上を見ず、遠くを見ず、今の一段だけを考えることだ」と話されました。更に続けて「足を乗せる一段だけを一生懸命見つめて登っていけば、いつのまにか頂上までついてしまおう」

そして「人生も同じですよ。今の一瞬（ひととき）をしっかりやること。今日一日を大切にすること。そうすりゃ自然と素晴らしい人生となるんです」とも話されたそうです。

学校が始まった今だからこそ、1年を見据えつつも、今できる一つ一つのことを大切に、あせらず、あわてず、じっくりと取り組んでいきたいですね。

最後に、絵本を一つ読みたいと思います。マイク＝セイラー作、ロバート＝グロスマン絵、今江祥智（よしとも）さん訳の絵本です。さて、この絵本の題名は何と言うのでしょうか。そう。「ぼちぼちいこか」です。ぼちぼちいこかは、「ゆっくりと、そろそろと、すこしずつ」といったような意味です。

〔～絵本を読む～〕

さて、皆さんはどんなことを感じたでしょうか

今日は、「鈴木大拙先生」のお話と「ぼちぼちいこか」の絵本を読みました。

今日も天気のよい日になりそうです。熱中症には気をつけ、水分をこまめに取り、素敵な一日にしましょう。

これで、校長講話を終わりにします。